



主力商品 和包丁

- 本社所在地：東京都中央区晴海1丁目8-10 晴海トリトンスクエア X棟 22F
- 事業概要：小売販売事業
- 常時使用する従業員：142人（2025年10月時点）
- 現在の売上高：20.6億円（2025年10月期）
- 法人番号：7010501051377
- Web：https://www.tai-matsu.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
王 威漢

日本の伝統工芸を後世に残す

伝統工芸品の経済圏を形成し、日常に取り入れることを目指しています。伝統的な和包丁や日本酒など、職人が少なくなっている業界を支え、新しい形でそれらを繋げていきます。伝統工芸品の可能性を探求し、それらを組み合わせることで新たな価値を創り出すことに取り組んでいます。新たな視点や世界観を提示し、より多くの人々にその魅力を伝えていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2028年度に売上高100億円の達成を目指しています。この目標は、国内における事業の拡大と、海外市場での店舗拡大によって構成されます。営業利益については、利益率25%以上を維持しつつ35億円の確保を計画している。

課題

- ・店舗拡大に伴うブランド体験の一貫性確保
- ・海外市場への進出・適応と現地体制の構築
- ・BtoB卸売の販路拡大と業務整備
- ・自社工場建設による和包丁の安定供給体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

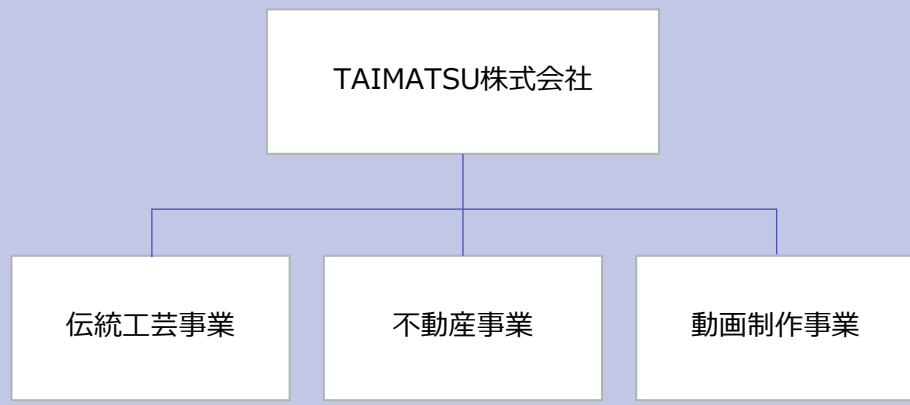
売上高100億円の実現に向けて、国内では、和包丁の店舗以外に別ブランドを中心とした出店を全国主要都市に広げ、ブランド接触機会の最大化を図ります。海外では、ニューヨークやロンドン、パリなど主要都市への直営出店に加え、地域別の統括法人を設立し、地域特性に応じたブランド展開と現地人材の登用を進めます。BtoB領域では、世界中の高級百貨店やセレクトショップとのパートナーシップを拡大し、営業体制の強化と販売網の最適化を図ります。

実施体制

- ・国内部門はエリア別マネージャー体制で店舗展開を推進
- ・海外事業本部は地域統括法人（北米・欧州）を設置
- ・BtoB営業部は国内外の卸売先の開拓と流通管理を担う
- ・商品企画本部は差別化商品（カスタマイズ和包丁等）を開発
- ・マーケティング部門はグローバル視点で和包丁ブランドを認知度No.1に

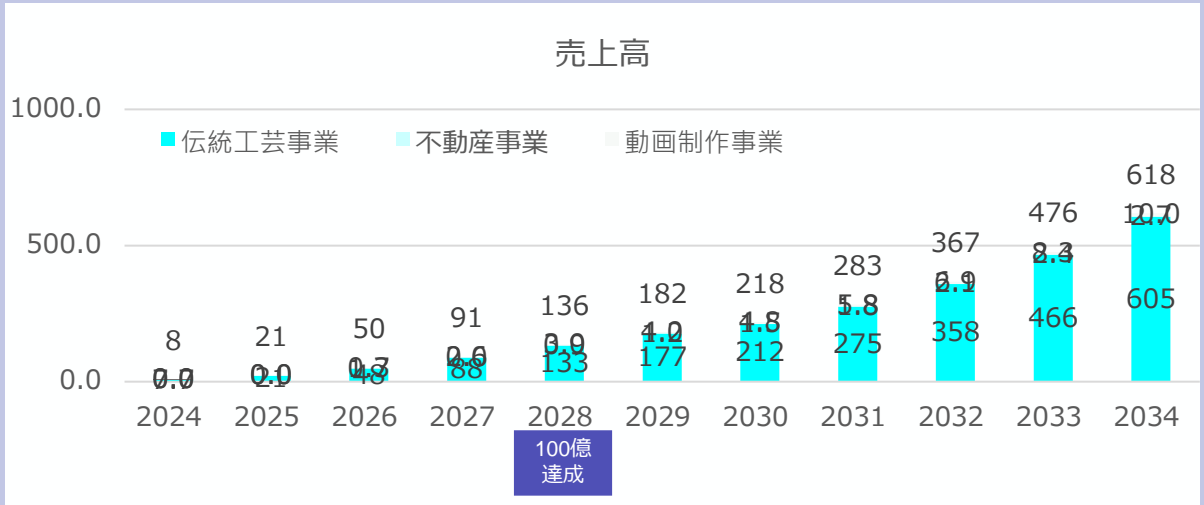
※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現目標と主な取り組み



2028年度までに売上高100億円を達成することを中期目標に掲げ、国内外の事業拡大を図ってまいります。単なる売上規模の拡大に留まらず、「伝統と革新の融合」を軸とした当社ブランド価値の国際的浸透、ならびにグローバルマーケットにおけるプレゼンスの確立を目的としています。

国内では、別ブランドの多店舗展開によって地域密着型のブランディングを進めるとともに、BtoB分野では全国主要百貨店や専門流通業とのパートナーシップを強化します。また、海外においては、2026年度の北米直営店（ハワイ）を皮切りに、欧州への出店（パリ）・営業拠点の展開を加速させ、2027年度にはグローバル売上比率20%以上を目指します。これに伴い、商品開発においては「カスタマイズ可能な和包丁」や「サステナブル素材の商品ライン」など、高付加価値かつグローバル市場で訴求力のある製品群を戦略的に拡充していきます。



FY年度	売上高 (税抜予測)	営業利益 (税抜予測)	当期純利益 (税抜予測)
2026年	50億円	11.9億円 (23.8%)	8.25億円 (16.5%)
2027年	90.9億円	22.54億円 (24.8%)	15.91億円 (17.5%)
2028年	136.4億円	35.19億円 (25.8%)	25.22億円 (18.5%)
2029年	181.8億円	48.67億円 (26.8%)	35.43億円 (19.5%)
2030年	218.2億円	60.26億円 (27.8%)	44.73億円 (20.5%)